

所管課	教育推進部学校教育課														
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策								
	第3章 元気創造都市			03 学校教育			04 安全、安心な学校園をつくる								
事業：子ども安全対策事業										整理番号	1154				
目的	事故や犯罪等の危険から子どもの安全が確保され、安心して学校園での生活がおくれるようにする。														
目標	子どもの危機対応力を高める。														
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		139		コスト情報・評価	総コスト(千円)		1,664		総合評価	A	妥当性	A		
	財源内訳	一般財源		139		内訳	事業費		139			効率性	A		
		国府支出金		0			人件費		1,525			有効性	A		
		地方債		0			公債費		0		子どもの安全指導を確実に実施することができた。				
		その他特定財源		0			一人あたり(円)		15						
							世帯あたり(円)		35						
貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	子どもの危機対応力を高めることができた。									
今後の方向性	新たな事業に対応したプログラムについても検討していく。														

事業優先順位	1 細事業：子ども安全対策事業										整理番号	21	
目的	児童・生徒の安全を確保する。												
目標	不審者対応や児童・生徒の防犯意識を高める。												
事業実施主体	直営	事業開始年度	平成20年度	根拠法令									
事業費・財源			平成25年度	平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数			平成25年度	平成24年度	比較		
	事業費(決算額)(千円)		139	184	-45		内訳	総コスト(千円)		1,664	1,057	607	
	財源内訳	一般財源		139	184			-45	事業費		139	184	-45
		国府支出金		0	0			0	人件費		1,525	873	652
		地方債		0	0			0	公債費		0	0	0
		その他特定財源		0	0			0	一人あたり(円)		15	9	6
				0				世帯あたり(円)		35	22	13	
			0				参考	職員数(人)		0.20	0.11	0.09	
		0			再任用職員数(人)			0.00	0.00	0.00			
今後の方向性	新たな事業に対応したプログラムについても検討していく。												
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	園児・児童・生徒及び保護者								
	A	A	A										

事業：子ども安全対策事業

子どもが自他の安全を確保するため、犯罪の被害に遭わないための知識を実践的に理解するとともに、遭遇した場合の対応についても指導できるよう努めた。特に、危険を予測し、常に的確な判断のもとに安全に行動できるよう、発達段階に応じた教育活動を進めた。

細事業：子ども安全対策事業

1. 子ども安全対策事業

市立全小学校の低学年を対象に、不審者に遭遇した時に対処する能力を身につけ、自身の安全を確保させる目的で、不審者対応プログラムに沿った授業を行った。市立全中学校の生徒対象には、犯罪被害防止プログラムに沿った授業を行った。